

拝啓 手紙の書き方教えます

郵便離れに広がる取り組み

手紙やはがきの書き方がわからない子どもが増え、書き方を教える取り組みが広がっている。小学生向けに教材や指導書を作ってサポートしてきた日本郵便は2012年度から、対象を中学生にも広げた。教え方を学ぶ教員向けの研修もある。

小中生に「まず経験を」

「はてねでまた、たつき
ゆうじょうね」

23日、東京都豊島区の切手の博物館。夏休みの思い出を卓球台やラケットの絵とともに、祖母宛てのはがきに書いていたのは、同区の小学3年、○○○○君(9)。25日まで開かれてい

祖母宛てに夏休みの思い出を
つづたはがきを書く○○○○
くん(左) 23日午前、豊島区

る「ゆうびん de 自由研究
・作品コンテスト201
3」内のワークショップ

「手紙を書いてみよう」に
参加した。母の○○○さん
(45)は「年賀状はプリンタ
ーで住所まで印刷するの
で、漢字の多い宛名を書く
のが難しいみたい」。

主催する公益財団法人日
本郵便協会は、小学生ら
を対象に「手紙を書く」活動
に力を入れる。会場には切

手や色鉛筆が用意され、そ
の場からはがきが出せる。

「郵便の世界に興味を持つ
子どもを増やしたい」と担
当者。「日付を入れた方が
いいんじゃない」「おばあ
ちゃん喜ぶね」。参加した
子どもたちは父母らのアド
バイスを受けて仕上げ、笑
顔でポストに投函した。

東京都三鷹市立高山小
(秋野幹夫校長)は、日本
郵便が作製した教材を取り

入れている。6月にあった
3年生の国語の授業では、
はがきに定規を当て、丁寧
に文字をつづった。話題は
大縄跳び大会や水泳教室な
どさまざま。担任の関口佳

美教諭は、人と関わる方法
として手紙の役割は今も大
きいと考へ、「相手への心
遣い」を強調した。

高山小では、農家や水泳
指導者ら学校に協力してく

れる地域の大人に、子ども
がお礼の手紙を出してい
る。

日本郵便でこの事業を中
心になって進める郵便事業
部切手・葉書室の山下健一
郎担当部長は「受け取った
大人たちがうれしくて、す
ぐ電話で褒めちゃうんで
す」と苦笑いする。「目指
すのは、出した手紙に返事
をもらうことです」

教員向け研修も

同社の前身が手紙の書き
方を教える取り組みを始め
たきっかけは、09年度の全
国学力調査。表書きに必要
な項目の位置を問う小学6
年への問題で、正答率は67
・1%だった。

「基本的な言語活動が失
われつつある」。このまま
では手紙が廃れてしまうと
危機感を強め、教材を作製
して小学校に提供を始め
た。
スタート後、さまざま

事例が見えてきた。年賀状
を出したといっても、宛名
から全て親が印刷し、一言
添えるだけだったり、郵便
番号の欄に電話番号を書い
ていたり。メールに慣れて
いるせいか郵便番号が家庭
ごとに違うと思っっている子
も。宛名のスペースに、名
前でなく「おじいちゃん」
と書く子もいた。

千葉県内のある小学校の
4年生のクラスで調べたと
ころ、自分の住所がわかる

子は3割だった。
小さな子どもだけではな
い。東京都練馬区の郵便局
では、書類を手にした大学
生らしい男性が「どうやっ
て出したらいいんですか」
と窓口を訪れた。封筒に入
れて切手を貼ることを知ら
なかったという。

日本郵便の教材を使って
授業をした学校は昨年度、
全国で約7900校、16
5万人にのぼる。今年度の
目標は約9900校だ。

「手紙離れ、は書いていた
人の話。今は書いたことが
ない子に経験させることが
重要」と山下さん。
教員からも、手紙を書い
た経験が少ないためうまく
教えられないとの声があ
り、同社が担当者を派遣す
る出前授業は昨年度からこ
れまで35校で実施。教員向
けの研修会も11回開いた。

12年度の全国学力調査で
は、中3にはがきの宛名を
書かせる問題が出され、正
答率は74・2%だった。
(吉本美奈子)